

1848

電子複写不可

南西諸島方面電報綴

其二

昭和二〇・五

20-2



五二〇 緊急

受信開始 〇〇九三六〇

譯了 一〇四五

電 〇〇九八九九二

作 概



聯合艦隊

佐

通

一九一三二二五〇

球事情第六六七號 其ノ五七

六航軍ハ計八箇師團ノ敵ト相見ヘ我が損害甚大ト雖モ既ニ敵五乃至六師團ノ攻撃力ヲ完全ニ破砕敵ニ與ヘタル打撃ハ極メテ大ナルモノアリ

【草ノ六未着以下其ノ七】

敵ニ機宜ニ適セルモノニシテ飽迄必勝ヲ信ジ徹底セル組織力ヲ結集シ本島同邊ノ敵艦船群ニ大痛撃ヲヘンカ。

電信聯註 本電其ノ一三四 六未着

通 一〇三二一

協 作

佐世保

丸山・内山

酒巻口

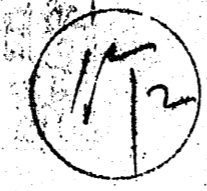
昭和十一年五月廿五日

昭和六年五月廿二日

五二〇 受言六六五八〇 一八〇〇 電一〇〇一一 作擬

緊急

聯合艦隊口



一九一三三〇

球參情電第〇六六七號 其ノ六  
諸情報ヲ綜合スルニ一兩日來敵有力船團遂次本島方面ニ到着 引揚  
ゲ敵ハ更ニ兵力及資材増強中ナルモノノ如シ此ノ時ニ當リ 義勇作戦  
ノ實行ヲ見ントスルハ。

（電信課註。其ノ一、三、五、七既配布）

通一一二二五 協作（呂）佐世保 中田（飯田）

昭和四年五月廿九日

五二一 受信開始 〇〇三六八 終了 〇三五六 電 〇二六五 作 概

作戰特別緊急

停

二〇一三〇三〇

球參電第六六七號其ノ六  
同文と判別せり伊海

球參情電第六六七號其ノ六  
海兵第六同隊二(一?)師團攻撃ハ一時激烈ヲ加ヘテ前進シテリタル  
モ其ノ銳鋒ヲ破碎セリ本日密偵報ニ依レバハ八個師團ノ敵有カ  
際ト見ラレリ。

(電信誤誌 本電其ノ七、八誤配布其ノ一二三四五未着)

(京通誌 本電誤字極々多シ)

通一一四二九 協作(七八七五)一K P Q B 放 望月(渡 瀬)



五二二 受信〇二三五 開始〇四〇五 了〇四四五 覽一〇二四七 作 編



二〇一〇四〇

球參電第六七其ノ六と  
同文多

球參電第六六九號 其ノ八  
敵有力船團續々本島ニ到着中ニシテ敵ハ更ニ兵力及資材ヲ增強中ナル  
モノノ如シ此ノ時ニ當リ義勇隊作戰ノ實行ヲ見ントスルハ。

【電信譯註 本電其ノ七既配布其ノ一二三四五六未着】

展一一四七一 傍作(七八七五) K F G B 放

小標(小標キ)

五 一七 受信二一〇四五  
静了二二三〇 電〇九〇〇六 作 機

停

夕 十 六 八 八

一 六 一 一 八 二 五

六 艦空軍情報第七二一編其ノ二

北岸ニセイソク地帯、飛行場兩方海岸ニ燃料庫タンク五（以上寫眞判讀）

三 艦船状況「嘉手納」沖 A 二 B 三 B 又ハ〇五〇又ハ D 五〇 T 四 C  
（電信機誌 本電兵ノ一三號節以下未着）

通九七六七

協作（七八七五KG）一KFGB放 谷島（細川）

五  
一一三 受信 〇〇二四五五 譯了 〇三四〇 電 〇六二六六 作概 〇



佐領區敵情着信艦所

久米島見張所

機密第一二一九五〇番電

本十二日當所ノ一五度二五軒鳥島ニ對シ附近掃海中ノ艦艇ヲ増強〇七  
三〇ヨリ〇七四五驅逐艦三隻ヲ以テ約一時間半艦砲射撃掃海艇一二隻  
ニテ同島周邊ヲ掃海一二〇〇噸ヨリ上陸用輸送船二千噸級一隻ヨリ  
水陸兩用戰車三ヲ伴ヒ上陸セリ。霧氣ノ爲戰車ノ海岸線行進ヲ認ムル  
ニ陸上ニ於ケル行動竝ニ敵攻撃不明一八三〇巡洋艦ハ針路三〇〇度其  
ノ他ハ針路一一〇度速力一二節ニテ避退シツツアリ。

通七〇三三 於一五ノ四九一五KOノ佐二放

武勝(山中)



五 一三 受信 〇〇六二八 譯丁 〇六二三 電 〇六二四 航作 〇

作戰特別緊急

● 鹿 島 航 空 基 地



● 一 K F Q B 天 作 戰 命 令 着 信 艦 所

機密第一三〇六〇二番電

發 T F B 指 揮 官

敵 K D B 九 州 南 東 方 海 面 ニ ア リ

通七〇四七 於十六(七八七五)一 K F Q B 放 櫻井(飯田)

昭和廿五年五月拾陸日

五 一三 受信 一三三 一四 譯了 一四一 電 〇六四三八 作 檄

昭和廿年五月十四日



一機動基地航空部隊天作戦命令着信艦所  
機密第一三〇六五五番電 三分ノ一

共 符

發 天航空部隊參謀長

南九州基地群飛行管制(五A)機密命令第五號)ノ勵行ヲ怠リ奇襲ヲ蒙リタル事例アリ最近夜間敵機ノ活動ハ當隊作戦ヲ阻害スルコト大ナルヲ以テ特ニ左記夜間飛行管制ハ留意セラレ度

電信課註 本電三分ノ三三未着

通七一七八 呂一Bケ七 (一KFGB放 星野(小林)



①

一機動基地航空部隊天作戦命令着信機所

機密第一三〇六五五番電

三分、二三

發 天航空部隊參謀長

一、夜ニ於ケル諸電火ノ點滅●警戒警報發令中ト雖モ點火シアルコト數次ニ止マラズ

二、夜間南九州地區出入ノ飛行機ハ二千米以下トシ見張所●電探所●ニ對シ奇數日ハ任意ノ奇數字偶數日ハ任意ノ偶數字ヲ發光信號シテ航空機ニテ點滅ス

三、機投飛行機ハ機投ノ豫定時刻及進入地點(志布志、佐多、鹿兒島灣)ヲ要スレバ高度ヲ通報警報發令中ハ飛行場上空以外ヨリ適宜ノ位置ニ待機スルト共ニ關係各部ニ通報(状況ニ依リ各海軍官ハ指令ヲ味方機別ヲ念タル機ハ射撃ヲラルルコトアルベシ。

①電信課註 本電三分ノ一既配布

通七七一七九

皇一日ケ七(七八七五)一ケ放

丸山(田)

受信一三四八  
一五五六  
〇六五五六  
〇六五五六

五 一三 受信〇〇八四七  
譯了〇九一〇 電〇六三二七  
作戰特別緊急

航概〇(參本)  
本

共

符



第一機動基地航空部隊  
作戰命令着信艦所

機密第一三〇六五九番電

天航空部隊 電令作第六號

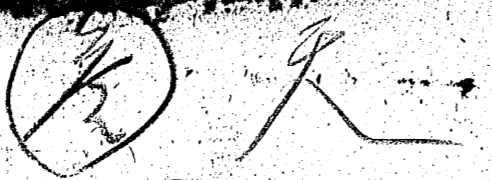
一八〇一部隊 詔間空部隊 本十三日左ノ夜間哨戒實施スベシ(基點  
足摺) 先端到達二三〇〇)

(イ) 八〇一部隊 一七〇度ヨリ二一〇度間三〇〇哩圍  
(ロ) 詔間部隊 一四〇度ヨリ一八〇度間三〇〇哩圍

二七六二部隊 夜間攻撃隊 (在郡山重爆ヲ含ム) ハ今夜大村基地ニ轉  
進機動部隊攻撃待機スベシ。

通七〇九二 六十六 (九八三〇) 佐二放 日(阿波)

5~13



第七基地航空部隊電令作第一三八號  
 一敵機動部隊九州南東海面近接中  
 二在關東警備隊 並二等戰隊八明治基地 情  
 備子十七  
 況ニ依リ美保基地ニ進出準

機密第一三〇七〇二番電

局長	
課長	
A	L
B	K
E	I
J	C
	命令着信
F	

取票急

副官 〇〇三〇

了 一〇三〇

電 〇六三四三

作機〇〇  
航本

應屬 航空基地

七〇九七

出一百九十一八七八七五〇一 K F G B 放



五 一三 受信一四三〇 電 〇六四八三  
開始一六一〇 了 一七一〇 〇六四八三  
〇航機 本本〇



● 天 陸航空部隊・藤枝航空基地  
● 鹿 野 航空基地

機密第一三〇八三八番電 二分ノ一二

關東空部隊戰報第二三號 (五月十三日)

一、敵軍八機天山三 〇三二三ヨリ〇四〇五迄、發進佐多岬ノ一四三度

ヨリ一七三度間一五〇度圈内索敵攻撃

二、敵軍二番索敵機佐多岬ノ一四〇度一三〇度ニ放空、四機遠處五ヲ發見

ス一六一度線佐多岬ヨリ三〇度附近及一四〇度線先端附近ニテ敵飛行

機ニ遭遇ス其ノ他探察機星〇七四五番機一機〇五ノ三迄ニ發着セリ

被害機星二機通信連絡無し他ハ石垣飛行場ニ墜着ノ算ナリ

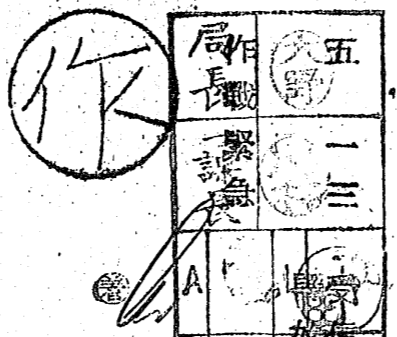
通七二一〇五 呂一〇ケ十一 (七八七五) 一五〇〇放 丸山 (松山)

昭和五年五月拾四日

天関係

五FGB電令作第一二二號  
 沖繩陸上戦闘ノ歸趨今明日ニ決セラレントス  
 各部隊本日橋作戦全力攻堅ヲ實施スルト共ニ艦爆艦攻特別攻堅隊ヲ以  
 テ特攻攻堅ヲ決行スベシ。

通七一〇 呂一Bケ一一一一三四七五K(五FGB放  
 長谷川  
 藤田)



第五基地航空部隊作戦命令着信艦所

機密第一三〇八五二番電

電〇六三六六

航作  
本機〇

昭和二十五年五月十日

*[Faint, mostly illegible text and markings on the right page, including a circled '作' at the top left.]*



五 一四 受信 〇〇三五〇五 譯丁一〇一五 電〇六八四八 航作本〇

至急



高 通

石 垣 島 警 備 隊

東 通。聯合艦隊口。佐 通

機密第一三〇九二五番電 二分ノ一

十二日戰鬪概報

一〇七〇五ヨリ〇七四五迄敵戰爆連合二五機北東ヨリ進入陸海軍飛

行場市街銃爆撃ノ後南東ニ退去〇九二五ヨリ三〇分間グラマン一

上空偵察ノ後東方ニ去ル以後敵襲ナシ

二敵ハ我戰鬪機ノ邀撃戰實施セザルヲ奇感トシ遊撃ノ戰鬪機ニ對ス

ル

電信課註 本電二分ノ二既配布

通七五三〇 天二〇ヶ六(四七〇五)高通 日野原(濤瀨)

昭和廿年五月拾四日

五一四 受信機 〇三〇九  
了〇三四七 電〇六七九一 航作 本機 〇

至 急



高 通  
東 通・聯合艦隊司令部・佐通

石垣島空基地

機密第一三〇九二五番 二分ノ二

昨ハ増大シツアリ

本日第一回空襲ニ於テ護衛戦闘機二機ナリ又陸爆四機程度ニテ陸爆機  
ヲ實施セルト見アリ。

（電信課註 本電二分ノ一未着）

通七五三四 天二Bカ六（四七〇五即）高 筒井（久保田）

五一四 受信 一二二〇五 調了 一二二九 電 〇六八九四 航作 概本〇

作戰特別緊急

● 阜良航空基地

● 九三空 (佐伯、築城各航空基地)

● 第一機動基地航空部隊各



機密第一三〇九三三番電

發 第九三一部隊指揮官

電令作第二號

一、敵機動部隊ハ都井岬東方七〇哩附近ヲ行動中

二、當部隊ハ全力ヲ以テ之ヲ雷撃撃滅セントス

三、築城基地派遣隊ハ速ニ阜良基地ニ進出出撃準備ヲ完成スベシ、行動豫定報告スベシ 〇九三三。

通七七九五 於十六 (七八七五 KC) 一 K F G B 放 仙波 (吉田)

一三 開始一四二六 了二五〇七 〇六四三  
基地航空部 航空基地  
航空艦隊



● 基地航空部 航空艦隊 航空基地  
● 航空艦隊 航空基地

機密第一三〇九三四番電

發 南部攻撃部隊指揮官

戰國海報 (五月十二日、三日)

一五機 ○七五五歸着 戰果大火災一敵布戰四一五機ノ追跡ヲ曉ケ

一機 (一式陸攻) ○三五〇敵上空ニテ片舷飛行トナリ ○六四〇燃料

不足基隆港外ニ不時着水以テ消息不明

北飛行場南側又ハ北飛行場沖水上艦船ヨリ無球四一五揚ゲアルヲ認

通七七八八 呂一三十一 (九一四五) 高二 (松山)

通七 一七七 四一Bケ七(九八三〇) 佐二放 片山(猪狩)

空母一隻南方向り出現 良間ニ入港中飛行機搭載状況不明

一二〇〇

機務第一三一二〇六番電



第一號作戰部隊

緊急

沖根

五 一三 開始 一三三二 一 了 一三四五 電 〇六四一一 作 〇

通七一九九 於一六（九八三〇）佐二放 山崎（小林）

發六航軍 德島十三日〇三〇〇滑走隊長一二〇〇幅七〇使用可能。

機密第一三三三三〇番電



- ① 一機動基地航空部隊各航空基地
- ② 海軍總隊口・大海參一部

至 急

共 符

航作 概本  
本本〇

五 一三 受信一三三三〇 丁一四〇〇 電〇六四一五

一三  
急

開始一六三二

了二六四四 電〇六四九一

參航作概  
本本〇



● 大海參一部・五航空艦隊口  
海軍總隊口

● 六航空派遭通信隊

機隊第一三一四号〇番電

知覽報

今朝來襲ノ敵飛行機標識ニ依リ「リチャード」ノモノト判断ス。

通七二八六

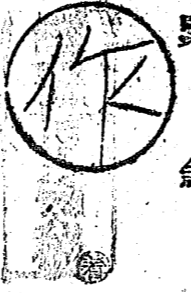
於十一(九八三〇)佐二放

富田(松山)

五 一 三 受信二 C 一 三五 了二一〇〇 電〇六六〇四 參作 本機

緊急

鹿屋航空基地



第一機動基地航空部隊戰術概報着信繼所  
機密第一三一五二一番電 三分ノ二

附近ニテ敵空母探索發見第一波〇六二ニヨリ〇八〇〇迄F六F一  
F四U一 TBF一 約三〇〇機 鹿屋 五〇鹿兒島五〇宮崎三  
五出水三〇大分熊本方面四〇 第二波 二〇ヨリ 三〇〇迄F六F  
I一F四U一及TBF一 約二二〇機 鹿屋附近二〇津津宮崎方面  
五〇熊本出水方面四〇佐伯方面二〇。

（電信課註 本電三分ノ一、三配配布）

通七三九八 呂一Bヶ七（七八七五KC）一KFGB放 奥山（藤田）

[Faint, mostly illegible text and markings on the right page, including a circular stamp at the top left.]



急務

先遣部隊

機密第一三一六〇二番電

三分ノ一、二三

綜合情報第八回號

沖繩 陸上戦線

敵方西方ヨリ攻勢ヲ企圖シアル外變化ナシ

沖繩周邊視界不良ナルを昨日ト大差ナキモノト認ム

敵機動部隊〇三〇〇地點ヘレナ三一 一 群地點ヘヌク三八 一 群何

レモ針路北〇五三五ヨリ一二〇〇頃迄艇數百 九州各地ノ飛行基地ニ

來襲南方ニ避退ヤリ捕虜ノ言ニ依レバ英機動部隊ハ五月二十日迄一

群先島群島南方ニ行動シタル後米國機動部隊ト交代ノ豫定

四ウルシ島十二日戰艦三特空母二巡洋艦一驅逐艦二輸送船一六〇アリ

通 七七三 八  
七三六 八  
九六〇 七

呂一〇七一(五二九五)六艦隊

大石 (増田) (田中)

開始二〇九一〇九 至六六六〇三 本

五通信機報ニ依レバ南西諸島輸送ハマリアナ最モ多クレイテ之ニ次グ  
ウルシハ機動部隊關係ノ補給多クバラオハ比較的僅少航路ハ各航路  
共鹿屋及喜望ノ我航空團ヲ選ケ沖ノ鳥島ノ一二〇ノ湊附近ニ集リ  
爾後沖繩ニ向ケ航路ヲ執リツツアルモノノ如シ。

昭和廿年五月廿四日

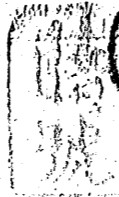
五 一三受信一八四五〇 譯了一九〇〇 電〇六五五二一 航作 本機〇

緊急

無線機所用共通符號

第一機動隊航空部隊・佐賀口

機密第一三一七〇〇番電



發 五A F 參 購

本日ヨリ當分ノ間鹿屋市北東方約三軒ノ地域ニ夜設ハ南北方向ニ約六  
〇〇米ニ依ル圓飛行場ヲ設置サル。

通七三七七 オ一六ノ九八七五K(一)K P G B 放 實田(本 下)